

平成30年  
9月号

# 太陽の都 だより



発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 山崎

## 日常の様子

### ◎ 納涼祭

八月五日(土)に当施設屋上で恒例の夏の行事「納涼祭」を行いました。お天気にも恵まれ、御利用様も楽しいひと時を過ごして頂けたのではと思っております。ご家族様にもお忙しい中多数参加頂きまして誠にありがとうございました。戸田橋より大輪の花火が大音響と共に咲き開くと大きく歓声が上がリ、大変楽しませていた御様子でした。そして「都神輿」が会場を練り回り、場の雰囲気をもっと盛り上げました。また、模擬店では、かき氷・焼きそばを提供させて頂き、会場には縁日を思わせるような「射的場」も設け、皆様真剣に的をめがけて射たれていました。職員も含め素晴らしい夏の夜の思い出になったのではないかと思います。至らぬ点多々あったかと思われませんが、今年の反省を糧に来年からも今年以上に納涼祭を盛り上げていきたいと思っております。



### ☆ ハワイアンバンド

七月三日と九日の二回、ボランティアのハワイアンバンドグループ「ラストワンプズ」の皆さんによる演奏とフラダンスの披露会を開催しました。夏らしいハワイアンの曲やアレンジされた演歌の演奏に合わせてフラダンスの華麗な演奏で会場も夏盛りの様相を呈していました。



### 特集

#### ◎ 十五夜について

日本の秋の風物詩ともいえるのが「十五夜」お月見ですね! 「中秋の名月」とも言ったりもします。今年は偶然十五夜が九月十五日なのですが、正確に言うと毎年違う日になります。月の満ち欠けで日にちを決めていた旧暦で七、九月が秋であったため、その真ん中の八月十五日の満月を、「中秋の名月」「十五夜」とし、作物の収穫を感謝していました。十五夜のお月見は、美しい月を愛でながら、秋の豊作を願い、収穫に感謝する意味があるのです。太陽の動きを基準にしている現在の新暦だと、旧暦の八月十五日は九月七日〜十月八日頃にあたります。ただ、これだけ幅があると何かと大変なため、十五夜関連のイベントは九月十五日に固定さ

れる場合もあります。

### 窓から見える光景

二階の食堂からお向いの小学校の壁にゴーヤの緑のカーテンが四階にまで届く勢いで伸びている光景が目に入ります。緑の葉にうずまるように、ポツリポツリと黄色い花を咲かせており、利用者様も「あれは沖繩のニガウリでしょ?」「実はいつとれるのかな?」「苦いから嫌い。」など、会話にも花を咲かせています。九月になり涼しくなれば、秋晴れの中、外に散歩に行ければと思います。



(二階ベランダから西浮間小学校を撮影)

### 行事予定

#### ◎書道クラブ

二階は、第一・第二月曜日の十二時三十分から、また第二・第四月曜日の十二時三十分からは書道の先生に在所して頂き、ご指導して頂いております。三階は、毎週木曜日の十二時三十分から、先生に書いて頂いたお手本を見ながら、また時には自由な発想で、皆さんに参加して頂いております。

#### ◎映画会

三階は毎週日曜日にDVD鑑賞、二階は第四日曜日に大型スクリーンやスピーカーを使用し、映画館で観ている様な雰囲気、利用者様に味わって頂けるようにしております。いつもよりも大迫力の画面での視聴を、皆様楽しんで頂いております。

### 博栄会グループニュース

#### ◎西日本豪雨災害に義捐金

博栄会グループでは先の西日本豪雨災害被災地への義援金のご協力を博栄会職員、患者様、ながぬま歯科医院様にもお願致しました。皆様からお預かりしました義援金総額は三十五万円。義援金は北区を通じ、災害に見舞われた地域へ送られます。



写真 右から

花川北区長

朝倉理事長 (医療法人社団博栄会)

永沼北区議 (ながぬま歯科医院院長)

### <近況報告>

様・御家族様

『こちらのスペースに当施設職員よりご家族様へ近況報告を添えさせて頂いております。』

担当：